

**問** 国県道の改良要望と交通安全対策を問う

**答** 旧町の要望を継承・交通安全計画にて対応

大上 正司 議員

**問** 国県の改良要望について、合併前は、旧町ごとに促進協議会等を設置し陳情・要望を重ねて参りましたが、合併し、宍粟市となった今日、市としてはどのように調整し要望されているか、又、旧一宮町・波賀町・千種町を横断的に結ぶ主要な国道429号で、現在、波賀町の鳥ヶ此トンネル工事が進められ、千種町の志引峠トンネルの促進協議会が岡山県美作市と宍粟市で立ち上げられたと聞か、高野峠トンネルや上野田三方町間の改良工事の要望は、どうなっているのかおたずねしたい。

**市長** 国県道の要望を継承しながら緊

急度なども考慮し要望したい。国道429号高野峠トンネルの要望もしているが、現在、県として計画はなく、鳥ヶ此トンネルの工事後、上野田三方町間の改良工事に着手すると聞く。

**問** 行政として交通安全対策は万全か。先日の福岡市職員による飲酒運転事故等、重大事故が後を絶ちません。飲酒運転追放に向けた住民運動を展開する必要があるのでは。

**市長** 各種団体で組織する交通安全対策委員会と8月に策定した交通安全計画等により、交通安全・飲酒運転追放に向けた取り組みを展開したい。

**問** 10年後の市の借金は

**答** 632億円の見込み

伊藤 一郎 議員

**問** 市借金は、宍粟美化センターを含む約800億円。市としての限界と10年後の見込みを聞く。

**市長** 実質公債費比率によって

示す。公債費比率が18%以上だと、県知事の許可が必要。25%以上だと起債の一部が制限される。望ましい借り入れ限度額は、実質公債費比率の18%以下です。H17年度での比率は17.4%です。今後の推移は交付税などの一般財源収入によつて変わることがあるが、現時点においては将来的には低下する。10年後の借金については、632億円程度を見込んでいます。

**問** 私の心配は交付税によって実質公

債費比率が変わるからです。合併前の計算と今年交付税金額とでは、約12億円減額です。推定を誤れば、大変なことになります。

**助役** 交付税は減つてきている

が、国より示された交付税を信用せざるをえない。合併特例債については、闇雲に使わず、見直ししながら進める。

**問** 総務省の指導の、貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書・類似団体財政指数表を出してください。

**市長** 資料の提出については、出せるものについては提出します。

**問** 道路・河川の改修、公用車について

**答** 早期実現・経費節減に努める

小林 健志 議員

**問** 桜の元交差点拡幅改良工事について、現在の進捗状況を伺う。

**市長** 公安委員会と国土交通省と協議を進めながら詳細設計を実施中。今後詳細設計が出来次第、地元協議を経てH19年度中には一部工事に着手したい。

**問** 清野地区の河川増水時通行不能箇所改修について、陳情が4自治会より提出されているが、進捗状況を伺う。

**市長** 大雨時の当地区の状況は承知している。与位・田井トンネル開通後当道路が市道へと移管される際に行われる旧道処理について、地元要望に応えら

れるよう県当局にはたらかせたい。

**問** 公用車の経費節減、台数削減、検査のあり方について伺う。

**総務部長** 現在特別車輛を含め約370台。一般車輛は約240台である。今後概ね5年で2割の台数削減を考えている。加えて購入費や燃料費の安い軽自動車やハイブリッドカーの導入等も推進していく予定。検査についても、入札方法をとるか購入業者に任せるか等研究を重ね、少しでも安く、安全安心な車輛を導入したい。

